

【支援方針】

- ・発達に偏りや特性のあるお子さまが、社会的に自立できることを最終的な目標とし、幼少期に培われるべき「自己肯定感」「他者への信頼感」の向上を促します。
- ・得意なこと・好きなことをたくさん見つけて伸ばし、褒められ達成感を得ることで、苦手なことや不得意なことにも「やってみようかな」と思える気持ちを養います。



おおすみ児童発達支援センター

【支援理念】

～太陽文化への思い～

自らを焦がし、辺りを照らす。心を敬い、他者を敬う。

作成日 : 令和6年10月16日

修正日 : 令和7年 4月 1日

営業時間: 月～土/8:00～17:00

送迎支援: 有

給食支援: 有

健康状態

【運動・感覚】

- ・粗大運動: トランポリンや遊具遊び、リトミック等
- ・微細運動: 製作や指先遊び、感触遊び等
- ・感覚の過敏さ・鈍麻の早期の発見、また、それに応じた適切な配慮・支援の助言

【健康・生活】

- ・SNSツールにて、保護者と子どもの体調についての情報をきめ細かに共有
- ・トイレトレーニングの実施、食事に対する姿勢・食具の練習、着脱の動作獲得・習慣化

心身機能 身体構造



活動



参加



【認知・行動】

- ・標準化された発達検査や知能検査等の活用による適切なアセスメント
- ・限局的な興味関心（こだわり）等に配慮し、興味関心のある活動の中で、少しずつ認知の育ちや興味の広がりを獲得

【人間関係・社会性】

- ・ボードゲームやルール遊びを通して、順番や約束を守って楽しく遊ぶ時間を提供する
- ・自由遊びでは、職員との遊びからお友達同士の遊びへと段階的に経験し、望ましい態度や関わり方を具体的に練習する
- ・困ったときやわからない時に、言葉やサインで援助要求することを練習する

【言語・コミュニケーション】

- ・子どもの眼差しや指さし、サイン・ジェスチャー、クレーン動作等のコミュニケーションを見落とさずに、職員が代弁し、言葉を獲得
- ・対大人のコミュニケーションから、友達同士の問題解決場面、譲歩場面など、段階的に丁寧に経験

【体験・経験（行事等）】

- ・お買い物体験
- ・外食体験
- ・季節の散策、公園遊び など

個人因子

環境因子

【家族支援】

- ・年に3回の個別面談
- ・年に2回の親子教室

【移行支援】

- ・保育所等訪問支援
- ・幼保連絡会

【地域支援・地域連携】

- ・関係機関との連携（園、学校、市子育て支援課、子ども家庭課、児童相談所、保健センター、医療機関など）

【職員の質の向上】

- ・職場内研修
- ・外部研修への参加

